

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び資本の状況

(単位：億円)

	2014年度 (2015年3月31日)	2015年度 第1四半期 (2015年6月30日)	前年度末比
資産合計	32,711	31,492	△1,218
負債合計	23,367	22,409	△958
資本合計	9,343	9,083	△260
親会社所有者帰属持分（自己資本）	7,900	7,632	△268
〔ご参考〕			
現金及び現金同等物	3,620	3,783	163
有利子負債	5,784	6,076	291
ネット有利子負債	2,164	2,292	128
D/Eレシオ	0.73 倍	0.80 倍	0.07 倍
ネットD/Eレシオ	0.27 倍	0.30 倍	0.03 倍
親会社所有者帰属持分比率（自己資本比率）	24.2 %	24.2 %	- %

当第1四半期末の資産合計は3兆1,492億円と、前年度末から1,218億円減少しました。棚卸資産は今後の売上に対応するため、サービスビジネスを中心に増加しましたが、売上債権は前年度末に集中した売上に係る売掛金を回収したことにより減少しました。

負債合計は2兆2,409億円と、前年度末から958億円減少しました。仕入債務は前年度末に集中した売上に対応する支払いにより減少したほか、その他の債務が賞与の支給により減少しました。有利子負債は6,076億円と、運転資金の一部を借入金で調達したことにより増加しました。

資本合計は9,083億円と、前年度末から260億円減少しました。四半期損失の計上や期末配当金の支払いにより利益剰余金が減少しました。なお、親会社所有者帰属持分比率（自己資本比率）は24.2%と前年度末並みとなりました。

② キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	2014年度 第1四半期	2015年度 第1四半期	前年同期比
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	295	293	△1
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△493	△283	209
I+II フリー・キャッシュ・フロー	△197	9	207
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	948	121	△827
IV 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,750	3,783	33

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは293億円のプラスと、前年同期並みとなりました。税引前四半期利益は悪化しましたが、運転資本が改善しました。

投資活動によるキャッシュ・フローはデータセンター設備などへの投資により283億円のマイナスとなりました。前年同期からは209億円の支出減となりました。前年同期には資金運用を目的とした定期預金への預入がありました。

営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは9億円のプラスと、前年同期からは207億円の収入増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは121億円のプラスとなりました。前年同期からは827億円の収入減となりました。前年同期には社債の償還資金等に充当するため普通社債700億円を発行していたことによります。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は3,783億円と、前年度末からは163億円増加しました。